

実施教員	所属	理学療法学科
	職・氏名	准教授・国分貴徳

テーマ	感覚と脳		
実施目標 (高校生に何を学んでもらうか等)	ヒトの感覚が、如何にして脳によって認識され、日常生活を送る上での必要な情報を受容しているのかを理解する。		
授業内容の要旨	ヒトの感覚は高度に組織化されており、各感覚器からの情報は脳に集約されて一括処理されています。こう聞くと脳はとてつもない高性能コンピュータのようですが、時々「あれっ？」と思うようなことも、、、本講座ではこの感覚と脳の間関係を簡単な実習とともに概説します。		
授業形態 ※該当に○	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実習	演習
対象人数	最大 40 人 (実習を行う場合は 20 人)		
必要機材 ※該当に○	<input type="checkbox"/> プロジェクター	<input type="checkbox"/> スクリーン	パソコン (パワーポイント)
	OHP	その他(マイク)	特になし
実施に当たっての その他留意事項等	本講座では簡単な実習 (道具・準備等は不要) を実施します		